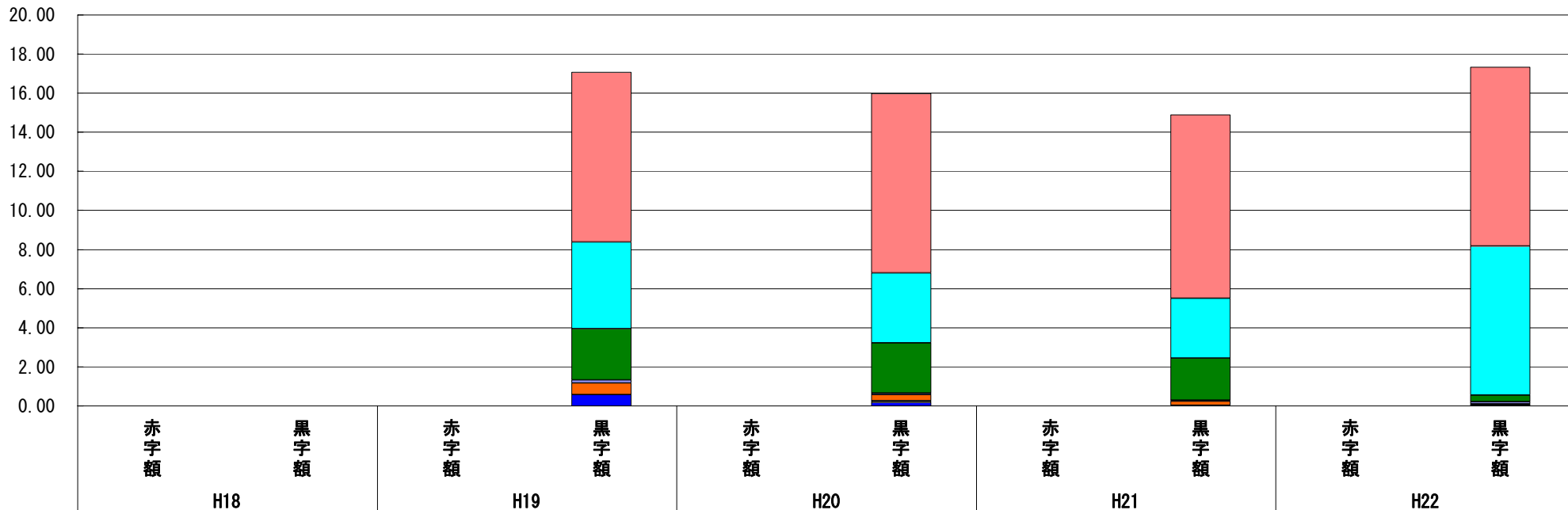


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

北海道幌延町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
病院事業特別会計		-	8.71	9.19	9.40	9.17
一般会計		-	4.42	3.58	3.07	7.63
国民健康保険特別会計		-	2.62	2.57	2.15	0.32
簡易水道事業特別会計		-	0.16	0.09	0.05	0.11
介護保険特別会計		-	0.60	0.30	0.21	0.06
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.08	0.02	0.05
下水道事業特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
北星園特別会計		-	0.01	0.00	0.00	0.00
其他会計（赤字）		-	-	-	-	-
其他会計（黒字）		-	0.56	0.18	0.00	0.00

分析欄

各会計ともに実質赤字額は発生しておらず、財政の健全性を維持しているものと思われる。

黒字額の大きな構成要素は、公営企業法が適用される病院事業会計のものであるが、これは資産形成を他会計で負担したものが損金処理されることにより剰余金等として内部留保されたものであり、平成23年度中の病院事業会計廃止（診療業務普通会計化）に伴い清算されることから、平成24年度以降は大幅に比率が減少するものと想定される。

しかしながら、赤字額を発生させるほど比率が落ち込む可能性は無く、今後も適切な費用と負担のバランスを図り、健全な財政運営に努めたい。